

あふくま

2023
Vol.00

開校
特別記念

準備号



特集

P3 新生伊達高校校歌
P2 新生伊達高校開校式・入学式

- P1 校長の雑感、PTA会長のつぶやき
- P2 伊達高校開校式・入学式
- P3 伊達高校校歌
- P5 校内球技大会
- P7～ 1・3年生遠足、2年生修学旅行
- P11 ICTを利用した授業風景
- P12 伊達高校商業科の取り組み
- P13 令和5年度 伊達高校の主な行事
- P13 大畑璃々羽さん東北高等学校陸上競技大会出場

伊達高校本校舎生徒会のみなさんと校長先生

PTA会長のつぶやき

おやじの 独り言

父母と教師の会
会長 菅野賢吉

「凄い・感動・涙が出る。」
今年、PTA会長という要職を
いただき、年も年なので何とかな
るだろうと考えていました。
しかし、今の環境で青少年育成
の発表に9月（保原小）、10月（伊
達市ふるさと会館）の発表会を聞
き、涙と感動を頂きました。
これだけの感性の素晴らしい発
表を、聴講を聞き、将来への夢・
希望・郷土愛、そして何気ない普
段の言葉への感受性での転気、そ
れは今の私では思い浮かぶ事のな
い気持ちを揺さぶられました。
何も感じない今の生活に、

シヨックを感じました。
そうだ、私も周りの言葉等に
もっと興味を持って接すれば、もっ
と楽しい生活が出来るかも？
年を考えてはいけない、今の若
い青年の様に、常に新しい気持ち
で、言葉等に全身の心と気持ちで
接して行ければと思います、反省しき
りである。
この刺激で、現在の自分に甘え
る事なく、今の息子・生徒諸君に
少しは、良い方に持っていければ
と、反省しきりの1日でした。
「ボーイズ・ヒー・アンビシャス」
少年よ大志をいだけ。この気持ち



を伝えられるよう、私も努力して
いきたいと思う1日でした。

校長の雑感

伊達高等学校 として

校長 高橋文彦

本校はこの4月に伊達高等学校とな
り、新たな歴史の1ページ目を刻んでい
ます。これまで、生徒諸君は学業や部活
動そして学校行事等に真摯に取り組み、
様々な成果を上げてくれました。その中
でも陸上競技部は、地区新人大会の女子
フィールド部門において、伊達高校初の
団体優勝を果たしてくれました。今後、
陸上競技部のみならず様々な部活等での
活躍が期待されます。そして、最近一番
印象に残っているのが校内文化祭（桜竜
祭）です。これまでは新型コロナウイルスの影
響で様々なことに制限等がありました。が、
5月に引下げられコロナ禍前の学校生活
が戻りつつある中で桜竜祭となり、生
徒達の活躍により盛大に挙行することが
できました。特に、「クラスパフォーマンス」
については、各クラス構成内容に
工夫を凝らし、ダンス・演劇・動画等々

どれ一つとして同じモノが無く、大変に
見応えがあり、是非とも保護者に生で
観てもらいたかったほどでした。特に、
上級学年の出来栄は素晴らしい、私
は感動すら覚えました。それはただ単に
そのパフォーマンスに感動しただけでは
無く、これまでの過程で生徒達が「ゼロ
から作り上げてきたこと」を強く感じ
たからです。企画を何にするか、役割をど
うするか、構成をどうするか、等々相当
話し合いが持たれたはずですし、意見の対
立もあつたでしょう。質を高めるため
に、だめ出しも必須だったはず。そ
れゆえ、生徒達の発表を見たとき、限ら
れた時間の中で良く頑張ったと感動した
のです。この桜竜祭をおして、生徒達
は一回りも二回りも成長したに違いあり
ません。そして、1・2年生達はこの桜
竜祭を伊達高の伝統として引き継いでく

れると確信しています。
人と出会い、磨き合い、助け合い、不
条理を知り、自己実現を図ることを学ぶ
装置として学校ほどのものはない。そし
て、この成長期に「万感の書」でも足り
ない経験を補ってくれるのが学校と言わ
れています。是非とも、一人一人が何事
にも積極的に高校生活に取り組み、これ

から歩む人生において「糧」となる様々
な経験をしたいと切に願います。子
ども達は、日々様々な感情や表情で帰宅
していることと思います。立派に逞しく
社会人として一本立ち出来るよう、保護
者の皆様には我が子の成長を見守り、そ
の挑戦を賞賛しつつ、背中をそっと押す
ご協力のほどお願いいたします。





新生 伊達高校開校式・入学式

令和5年4月10日(月) 9時15分～

多くの来賓の皆様のご出席のもと、福島県立伊達高等学校開校式が挙行政され、「地域の未来を創造する人材の育成」を教育目標とした、豊かな人間力を育む学び舎として始動しました。



真新しい校旗が授与され、伊達高校の歴史がスタートしました。



来賓祝辞 福島県知事
内堀雅雄様



来賓祝辞 伊達市長
須田博行様



開校式が厳かに挙行政されました。



緊張の面持ちで入学式に参加する新一年生。



渡邊香苗さんが生徒代表として挨拶。

開校式の後には入学式も行われ、緊張しながらも期待に胸を膨らませた128名の新一年生が誕生しました。

校訓である和衷協同の心で、2・3年生と共に伊達高校の生徒として活躍する姿を期待しています。

伊達高校の新校章も決定！

校章には、梁川高等学校の校章となっている伊達氏の居城であった梁川城に由来する桜の花と、保原高等学校の校章のモチーフとなった伊達地方の郷土の英雄北畠顕家の家紋である笹りんどうの花を取り入れました。

この両氏に由来する花を囲んでいる二つの輪は両校の調和・融合そして新生伊達高等学校の無限の可能性を表しています。



見誠 和衷協同

けん せい わ あゆう きょうどう



Congratulations
on Opening
Date High School



新生 伊達高校校歌

開校式には作曲者の伊藤康英様と作詞者の原みさほ様を来賓としてお迎えし、伊達高校の校歌が紹介され、披露されました。

- 1
霊山の佇む姿の凛々しさに
夢を描くと決意した
今は小さな蕾でも
誠の志で育てよう
桃花の郷の伊達高校
重ねる歴史が未来への
私を導く糧となるから
- 2
阿武隈のきらめく水面の優しさに
進み出すことを決意して
変わりゆく時を恐れずに
輝く翼を広げよう
希望集まる伊達高校
つないだ誇りと絆こそ
私が飛び立つ力となるから

学知利行 關心

がく ちり ぎん かんしん

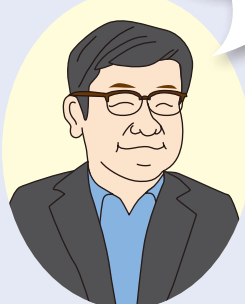


QRコードを読み取ると、伊達高校のHPから、校歌を聞くことができます。
PCからは「福島県伊達高校 校歌」で検索してください。

音域を概ね1オクターヴに収めた、歌いやすく、親しみやすく、覚えやすいメロディー、そして格調高いメロディーであること、それにより長く歌い続けてもらえるようなメロディーを心がけました。詩の冒頭に、郷土の象徴ともいえる「霊山」「阿武隈川」が現れます。ここに特徴あるメロディーをつけ、さらにピアノ伴奏をユニゾンとすることで、雄麗な霊山・阿武隈への思いを表現しました。未来に向かって進む若人たちの希望や期待を、後半の3連符を伴う行進曲風のリズムとメロディーに込めました。

伊達高等学校校歌は、伊達市唯一の県立高等学校となることから、統合校と伊達市にゆかりのある原氏と伊藤氏に作詞と作曲をそれぞれ依頼したところ快くお引き受けいただき、作成されました。

事前に両校の生徒・教職員にアンケートを取り、それを基に両校の代表生徒・教職員とワークショップを開催し、作詞のモチーフとしました。些細な夢でも、一步踏み出せるように生徒たちの背中を押すような歌詞であり、それと共に卒業後、立ち止まり振り返った時の心に寄り添える歌詞を目指しました。



作曲者：伊藤康英氏

伊達市歌を作曲。東京藝術大学作曲科、同大学院修了。静岡県浜松市出身。現在、洗足学園音楽大学教授。夫人は福島県伊達市霊山町出身。義父は福島県立保原高等学校卒業。



作詞者：原みさほ氏

福島県伊達郡桑折町出身。福島県立保原高等学校卒業。日本映画学校（現・日本映画大学）1年在学時に書いた、伊達郡桑折町を舞台とした映画「物置のピアノ」の原作者。

みんなで力を合わせて頑張った

校内球技大会

令和5年 7月18日(火) ~ 19日(水)

男子バレーボール



優勝
3年2組



優勝クラス キャプテン 高橋 佳吾

いつも体育で練習していたので、チームが強くなり、また団結力が高まったので優勝出来ました。自分が学んだことは、バレーは楽しくプレーすることによって、チームの雰囲気良くなることだと思います。

3年2組

1年2組

女子バレーボール



優勝
2年3組



優勝クラス キャプテン 菅野 柊

初めは、練習する時間がなく不安が大きかった。しかし本番ではみんなで楽しくできてよかった。来年も絶対優勝します!!

商業課
3年5組
2年4組

1年6組

1年5組

2年3組

取材中の
調査広報
委員会です





勝1キ7



勝1キ7



勝1キ7

1年3組

女子バドミントン



優勝クラス キャプテン 橋内 凜生

優勝
1年3組



バドミントンの種目で優勝を飾ることができ、クラスメイトや先生の喜ぶ顔を見て、私自身もうれしさを強く感じていることに気づいた。この経験は貴重なものなので深く心に刻んでおきたいと思った。

2年2組

男子バスケットボール



優勝クラス キャプテン 霜山 直央人

優勝
3年4組



3年4組は球技大会に向けて沢山練習をしてきました。優勝できたのは、チームの雰囲気良く、普段の男子の仲の良さが出ていたので優勝できたのかなと思います。このチームで優勝できて最高です。

3年4組

3年3組



1年1組





石碑が立ち並ぶ



山寺の山道

1年生遠足

令和5年10月27日(金)



足湯で心も体も
ぽっかぽか



陶芸体験!



上手に出来たかな?



伊達高校



立石寺(山寺)



道の駅天童温泉



平清水焼体験



保原中央交流館



旅行のスタート!

美味しそうな駅弁

ニコニコな笑顔

新幹線の中でもワイワイ楽しく!

学旅行

6日(木)~29日(日)



鹿にお煎餅をあげる

あまりの大きさに首が疲れる...

2日目
10/27
金

1日目
10/26
木





2年生修

令和5年10月2

夕暮れにたたずむ
興福寺

みんなで食べると
楽しいね、美味しいね



世界遺産の
平等院は
10円硬貨の
絵柄です



4日目
10/29
目

3日目
10/28
日





絶叫マシンも
なんのその!



みんな仲良く
ピースサイン!

まるで映画の
ワシーンみたい!!



3年生遠足

令和5年10月27日金



熱い友情を
感じます!



にっこり笑って
はい、チーズ!



腕を組んでアピール!



モデルみたいで
カッコいい!



仲良くみんな
ポーズ!



ICTを活用した授業風景

1年生 情報工

授業担当 齋藤正義 先生

教室での講義

教員の話している内容がスクリーンと生徒のタブレットに映し出されるため、どこを説明しているか、一目瞭然である。

また、動画などの教材については、スクリーンに映すとともに、さらに-googleミートにより生徒のタブレットの画面上に表示されるようにしている。生徒たちにとって、座席に関係無く資料を自分のタブレットで確認できるため、説明している箇所を瞬時に確認し、考えることができる。このように、教員と生徒間の意思疎通に行き違いが少なく、集中して授業に臨むことができていると感じた。

コンピュータ室での実習

今回は、プログラミングの授業の第1回目。コンピュータ室には、個人のモニターと教師の画面を映す説明モニターが設置しているため、先生の説明を聞きながら一緒に操作できるようになっている。また、教員が2名体制になっていることと生徒同士でも教え合うような雰囲気になっているので、主体的・協働的な学びが実践できていた。

ICT機器

- ・教員用タブレット
- ・プロジェクター
- ・スクリーン

ソフトウェア

- ・-google クラスルーム
- ・-google ミート
- ・-google スライド



スクリーンは教科書等とリンクしている。



複数のモニターでフォローする。



真ん中にあるのが説明モニター。

2年生 地理歴史

授業担当 瀬戸裕一郎 先生

教室での講義

スクリーンには、プリントや教科書のスライドが表示され、また、参考となる写真を映し出し、理解がしやすく、興味も持ちやすいと感じた。

プリントには、1つの単語のみで簡潔に記入できるため、教員の問いかけや話し合う時間に「全体を待ってから」ということがなく、スムーズだった。簡単と思われる問いかけと難しいと感じるものを個人かグループのどちらで考えるのかなど、生徒が困らないように区別していた。

ICT教材の使用

ICT教材では、生徒の意見をスライドに投影する「メンチメータ」を使用。教員は一つ一つの課題に対してのコメントを一目でざっと確認し、評価をする。生徒達にとっては自分の意見が認められたという気持ちでさらに意欲的になると感じた。もう一つのアプリ「パドレット」を使い、授業のまとめを各グループで話し合い、それをスクリーンへ投影する。個の考え、グループの考え、そして他のグループのかかわりの中で、生徒全員が一つになって授業をしていると感じた。

ICT機器

- ・教員用タブレット
- ・プロジェクター
- ・スクリーン

ソフトウェア

- ・-google クラスルーム
- ・-google スライド
- ・メンチメータ
- ・パドレット



スクリーンで大きく表示。



プリントと併用して効率よく。



生徒達の学習意欲が高まる授業。

伊達高校商業科の取り組み

地域小売業でのインターンシップ

令和5年11月8日(水)～11月10日(金)

将来の職業人としての勤労観・職業観を養うとともに、進路意識や教科・科目の学習意欲の向上を目的として、インターンシップ(生徒が在学中に、実際に企業・事業所で自分の学習内容や進路などに関連して行う就業体験)を行いました。



見えないところに、商品の価値をあげる工夫が。

インターンシップ 実施企業(事業所)

- しまむら保原店様
- ダイユーエイト保原店様
- ヨークベニマル保原店様
- コープマート保原店様
- リオン・ドールコーポレーション保原店様
- コメリハード&グリーン保原店様
- ファンズ保原店・伊達店様
- 西友保原店様



什器用の部材を運んで売場設営。



売り場を作るのも初体験。



商品の陳列にもルールがあります。

インターンシップ感想

品出し作業を手際良くできた。3日間のインターンシップを通して、働くことの大変さとやりがいを感じることができました。

お客様が多い日だったため、品出し中に商品をみているお客様に気を配ったりするのが大変でした。

初日でわからないことが多くあったが、従業員の方々が分かりやすく丁寧に教えてくださったため、支障なく作業ができた。

今日は昨日と違い青果のところで作業をした。初めてみる機械がいくつかあった。パック詰めも初めてで手こずった。

ハンバーグやポテトサラダやから揚げを初めて作った。とても楽しかった。ハンバーグをこねるのが難しかったです。



3年5組 大川ひなた



もーもー杏仁パンナコッタ

桃(も)つと食べたい! と思ってもらえるように作りました。上部にはレモン・オレンジ風味のさっぱりゼリー、そしてゼリーの中にはごろごろとした桃がたくさん入っています。パンナコッタは杏仁のリキュールを使用し、口に入れた瞬間ふわっと杏仁の香りが広がらなめらかな触感です。



3年5組 三浦未紗



ばぶつちや大福

館の代わりにかぼちゃ餡と白餡を混ぜたものを入れ、真ん中に赤ブドウを入れたハロウィンカラーの大福です。ブドウとかぼちゃの甘みを生かしたお菓子になり、皮はかぼちゃ感が出るようオレンジ色で着色し、切込みを入れて形を作っています。目とへたの部分はようかんであらわしています。

地域特産の果物を使ったオリジナル商品開発

商業科流通ビジネスコース3年生は4月より「商品開発」の授業で地域の特産品を使用した商品開発に取り組み、「道の駅伊達の郷りよつぜん」や「JAふくしま未来」の方から講義や助言を頂きながら、「いづみや」様、「福のれん」様、「條果樹園」様、「斎藤果樹園」様にご協力を頂き、開発したものを生徒・教職員に対して校内で注文販売を行いました

令和5年度 伊達高校の主な行事

開校式・入学式

令和5年4月10日(月)



1年6組 渡邊 香苗

私たちは、伊達高校二期生としてこの伝統ある高校に入学をすることができました。
新たな学校生活への期待とともに不安もありますが、先生方のご指導や先輩方のお力を借り、何事にも精一杯取り組んで参ります。
伊達高生としての誇りと自覚、責任をもち、日々精進していきますので、どうぞお導き下さいますようお願いいたします。



緊張の面持ちで入場する新入生。



これから学校生活が始まります。

対面式・部紹介

令和5年4月11日(火)



1年2組 佐藤 悠翔

入学式次の日、クラスの人たちともまたまともに話したこともない中、全校生に見られているという緊張で手も足も震えていました。目の前にいる生徒会長さんの目を見ることができないうらい心臓がバクバクでした。しかし、読み終わったときの達成感にとてもうれしかったことを覚えています。



対面式で先輩方と挨拶。



生徒会長に挨拶をする佐藤悠翔さん。

壮行会

令和5年6月22日(木)



選手を激励して送り出す！



先生からの力強い言葉をもらう。



吹奏楽部も演奏で送り出す。



意気込みを全校生徒に向けて！



健闘をみんなの前で誓いました。

大畑璃々羽さん 東北高等学校陸上競技大会出場



今年6月15日(木)～18日(日)にかけて山形県天童市のNDソフトスタジアム山形で第78回東北高等学校陸上競技大会に、本校から3年生の大畑璃々羽さんが走高跳で出場しました。

Q. 走高跳を始めたきっかけは？

A. 小学6年生の時に、伊達市の陸上競技大会参加の際、出場種目を自分で決めることになり、楽しんで思うに思えた走高跳を選びました。結果は第2位となり、さらに興味をもち、その後高校まで走高跳を続けています。

Q. 自己ベストは？

A. 150cmです。

県大会では自己ベストは出せなかったけど、それでも東北大会への出場は果たすことができました。

Q. 東北大会に出場した感想は？

A. 顧問の鈴木敦先生と東北大会を目標にしてきたので、目標が果たせてうれしかったです。

Q. 試合前はどんなことをしている？

A. 好きなアーティストの音楽をずっと聴いています。

Q. 飛ぶ前はどんな気持ち？

A. 自分は気持ちが弱く、すごく緊張する。そして、バーに当たったときの恐怖が頭をよぎる。だから、とべると心の中で呟いています。



ユニークなダンスで盛り上がりました!



広報委員も撮影で活躍!



華麗なステップでダンス!ダンス!



なにわ男子になりきってダンス!



ハロウィンのコスプレで決めポーズ!



クラス一丸となった発表で友情が深まりました。



優秀なクラスを表彰する校長先生。



瀬戸先生も可愛く変身!



美術部が制作した光るオブジェ。



充実した家庭クラブの展示。



華道部の作品展示に思わず見入ってしまう。

桜竜祭大成功!

大畑さん、インタビューにお答えいただきました。ありがとうございます。今後のご活躍も期待しています。



- Q: そんな時、先生はどんな声をかけてくれるの?
A: 何も考えなくて自信をもって飛べ。
- Q: 試合の日のルーティンはある?
A: コンビニの冷凍フルーツを食べること。ブドウやマンゴーフルーツなどです。
- Q: 試合の日の朝ごはんは?
A: 食べないです。午前中に飛ぶので、飛ぶ直前にピタミン入りのゼリーを飲みます。
- Q: 将来の夢は?
A: 養護教諭です。自分も養護教諭の先生に話を聞いてもらい助けてもらったように、自分も悩んでいる子どもたちをサポートして元気になってほしいからです。
- Q: 陸上は続けますか?
A: 卒業後、続けるかどうか、まだ考えていません。
- Q: 好きな言葉は?
A: 「ありがとう」です。
- Q: 何かメッセージをお願いします
A: あきらめずに努力すれば必ずいいことがあります。頑張ってください。
- Q: 応援してくれた人たちにひとことお願いします
A: 支えて応援してくれてありがとうございます。



▶ 教養委員会



今回の研修旅行は、コロナ感染症の影響のため、4年ぶりの再開となりました。6月16日の金曜日、天気にも恵まれ、栃木県大田原市にある国際医療看護大学を見学してきました。桜の木々が広い敷地を囲み、実習室や図書館などとても良い環境が整っていました。

委員長 安藤 恵美

▶ 健全育成委員会



伊達高校と保原高校の制服が入り混じる中、生徒の登下校時の交通安全を見守りました。4月から道交法改正で自転車のヘルメット着用が努力義務となりました。生徒の皆さんの元気な挨拶と笑顔が励みになります。心も体も健やかに育って欲しいです。

委員長 佐久間貴子

▶ 厚生委員会



今年度は、厚生委員としての活動はなく、PTA全体の運営に携わりました。

委員長 齋藤 麻美

▶ 編集後記 (調査広報委員会)



伊達高校が開校しましたが、本校舎と梁川校舎にそれぞれPTAがあり、それぞれ広報誌があるという状況から、今号は完全合併に至る前の「準備号」としました。そのため、広報誌タイトルも「あぶくま」のまま継続して使用することになりました。

委員長 山田まさみ

学校のホームページを見よう

<https://date-h.fcs.ed.jp>

福島県立伊達高等学校

検索

右のQRコードまたは「福島県立伊達高等学校」で検索してアクセスしてください。

